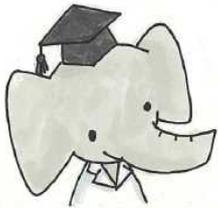


9月22日

食べてアクション！SDGs(持続可能な開発目標)

地産地消に取り組もう！

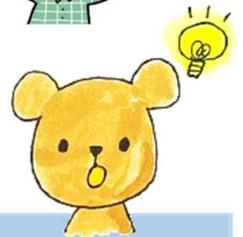
『地産地消』っていう言葉をよく聞くけれど、どんな意味だろう？



地域で生産された農林水産物を、地域で消費しようとする取り組みを『地産地消』といいます。
 私たちにとっては、北海道や札幌市内でとれたものを食べることが『地産地消』なんです。
 地域には新鮮で、おいしく、安心な物がたくさんありますよ。



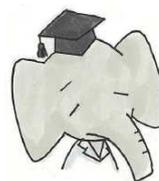
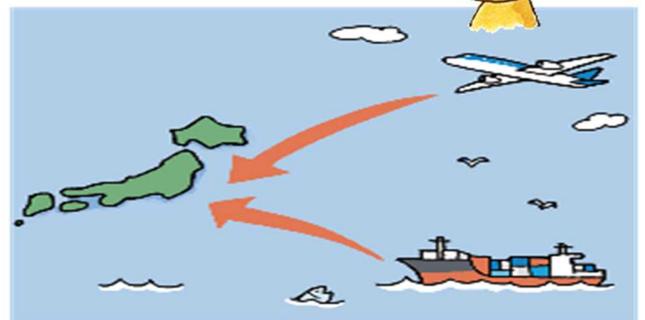
地産地消は、地球にやさしい！



遠くでとれた食材を私たちのもとへ運ぶには、車や船、飛行機などを使い、燃料がたくさん必要です。

燃料を使えば使うほど、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスがたくさん出て、地球全体の温度があがる「地球温暖化」につながります。

温暖化がすすむと、人間や動物、植物が、今までどおりの生活をするのがむずかしくなってしまうのです。



日本の食料自給率は40%以下。
 日本は輸入が多いからフード・マイルージが高いんですね。

重要！！

『地産地消』をすすめると、食材をはこぶ距離が短くなるので、使う燃料が少なくてすみます。
 二酸化炭素の量をへらし、地球の温度が上がるのを防ぐことにつながります。

『地産地消』の取組は、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成につながります。

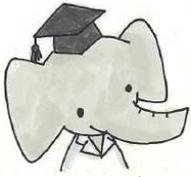


過去100年で地球の温度は0.6度も上がっているんだって！

給食でアクション！

地球のためにできること

『地産地消』を意識しながら 北海道の食材をおいしく食べよう！



『地球温暖化』は、二酸化炭素などの「温室効果ガス」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が上がってしまうことだよ。

日本は世界で5番目に多いです。二酸化炭素の量を、もう少しへらしたいですね。

二酸化炭素を多く出している国ランキング

1.中国	94.2
2.アメリカ	50.2
3.インド	24.2
4.ロシア	15.5
5.日本	11.5
6.ドイツ	7.2
7.韓国	7.0
8.イラン	6.6

単位:億トン



みんなが北海道の食べものをおいしく食べることで、二酸化炭素の量がへって、地球の温度が上がるのをふせぐことにつながるんだね。

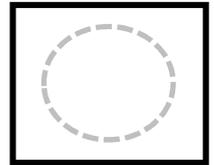


9月の北海道産食材(予定)

- ・じゃが芋(洞爺産)
- ・玉ねぎ(富良野産)
- ・にんじん(富良野・ようてい産)
- ・だいこん(洞爺産)
- ・レタス(札幌産フードリサイクル)
- ・にんにく(十勝産)
- ・キャベツ(南幌・伊達産) など



今日の給食の北海道の食材は洞爺産のじゃが芋と大根だよ。地産地消を意識して今日の給食を食べられた人は、○をつけよう！



身近な生き物 豆知識

昔は札幌でも見られていましたが、今は見られなくなってしまった生き物です。第3回はシマフクロウです。

わたしたちシマフクロウにとって、大きな木やエサをとるための川は子育てに欠かせないの。でも、札幌では木や川がどんどん少なくなってしまっていて、暮らせなくなってしまったわ。

